

令和6年度第3回習志野市介護保険運営協議会議事録

1 開催日時 令和7年2月7日(金)午後1時30分～午後3時

2 開催場所 サンロード津田沼6階 大会議室

3 出席者

【会長】 習志野市歯科医師会 向井 健介

【副会長】 習志野市薬剤師会 久保木 俊光

【委員】 淑徳大学 教員	本多 敏明
千葉大学 教員	飯野 理恵
習志野健康福祉センター 副センター長	田中 由佳
習志野市社会福祉協議会 副会長	鈴木 とし江
習志野市民生委員児童委員協議会	田久保 直子
習志野市高齢者相談員	中村 守
習志野市介護サービス相談員	村山 典子
習志野商工会議所	羽生 昌弘
習志野市あじさいクラブ連合会	川地 栄四郎
社会福祉法人慶美会	高橋 貞智
有限会社ウエルフェア	荒木 時元

【事務局】 習志野市	市長 宮本 泰介
健康福祉部	部長 小平 修
高齢者支援課	課長 長谷川 信二
介護保険課	課長 北澤 章匡
健康福祉部	主幹 相原 由美子
健康福祉部	主幹 岡澤 早苗
高齢者支援課	係長 上本 友恵
高齢者支援課	係長 柳生 洋明
高齢者支援課	主事 細田 裕介
介護保険課	係長 今井 恵司
介護保険課	係長 下村 康弘
介護保険課	係長 斉藤 里恵
介護保険課	主事 相原 くるみ
介護保険課	主事補 関和 純大

4 議題

日程第1 会長選出

日程第2 副会長選出

日程第3 会議の公開

日程第4 会議録の作成等

日程第5 会議録署名委員の指名

日程第6

審議事項

(1) 令和6年度地域包括支援センター(高齢者相談センター)の評価結果及び令和7年度委託法人の承認について

(2) 令和7年度地域包括支援センター(高齢者相談センター)運営方針について

日程第7

報告事項

(1) 習志野市光輝く高齢者未来計画2024における令和6年度中間評価について

(2) 地域密着型サービス事業者の公募について

(3) 認知症初期集中支援チームの活動状況について

(4) 地域密着型(介護予防)サービス事業者の指定等について

日程第8 その他

5 担当課

健康福祉部 介護保険課

6 議事内容

日程第1 会長選出

(事務局)

習志野市介護保険条例施行規則第55条第1項の規定により、会長及び副会長は、「委員の互選により定める」としている。

互選の方法だが、いかがか。

(田中委員)

指名推選はいかがか。

(事務局)

指名推選という意見が出たが、他に意見はあるか。

(一同)

意見なし。

(事務局)

無いようなのでお諮りする。ただ今、指名推選との意見があったが、指名推選によって行うことに異議はないか。

(一同)

異議なし。

(事務局)

互選の方法は指名推選によって行うことに決する。会長はどなたがよろしいか。

(田中委員)

会議の場を多く経験されているとお見受けし、向井委員はいかがか。

(事務局)

向井委員の推選があったが、他の方の推選はないか。

(一同)

意見なし。

(事務局)

お諮りする。ただ今、向井委員が推選されたがよろしいか。

(一同)

異議なし。

(事務局)

異議なしと認め、会長は向井委員に決する。
それでは、向井委員に一言挨拶をお願いします。

向井委員挨拶

(事務局)

以後の議事については、会長をお願いします。

日程第2 副会長選出

(向井会長)

副会長の互選を行う。互選の方法について、意見のある人はいるか。

(荒木委員)

会長に一任するということではいかがか。

(向井会長)

ただ今、荒木委員より会長一任でいかがかという意見があった。他に意見はないか。

(一同)

異議なし。

(向井会長)

では、私より久保木委員を指名する。よって、副会長は久保木委員にお願いする。
それでは、久保木委員に一言挨拶をお願いする。

久保木委員挨拶

(向井会長)

本日は新委員による最初の協議会開催ということで、宮本市長から挨拶したい旨の申し出があったため、これを許可する。

宮本市長挨拶

(向井会長)

なお、宮本市長は所用のため退席する。

宮本市長退出

日程第3 会議の公開

(向井会長)

本日の会議は、「習志野市審議会等の設置及び運営に関する指針」により、原則公開となっている。ただし内容により公開非公開の判断が必要となった際は、その都度お諮りすることとしたいがよろしいか。

(一同)

異議なし。

(向井会長)

異議なしと認める。

本日の内容に非公開事項はない。傍聴人については、定員に達するまで認める。

日程第4 会議録の作成等

(向井会長)

「会議録の作成等」についてお諮りする。会議録については要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載した上で、市ホームページ及び市役所の情報公開コーナーにおいて公開したいと考えるがこれに異議はあるか。

(一同)
異議なし。

(向井会長)
異議がないようなのでそのとおり取り扱うよう決定する。

日程第5 会議録署名委員の指名

(向井会長)
会議録署名委員の指名について、田久保委員と中村委員を指名する。よろしくお願いします。

日程第6 審議事項

(向井会長)
続いて、審議事項に入る。

(向井会長)
審議事項(1)「令和6年度地域包括支援センター(高齢者相談センター)の評価結果報告及び令和7年度委託法人の承認について」は、議事進行上、審議を2点に分けて進める。1点目として、5か所の高齢者相談センターのうち津田沼・鷺沼、屋敷、東習志野高齢者相談センターの3か所についてご審議いただく。2点目として、同様に、谷津、秋津高齢者相談センターの2か所についてご審議いただく。はじめに、津田沼・鷺沼、屋敷、東習志野高齢者相談センターについて、事務局から説明を求める。

(相原健康福祉部主幹)

審議事項(1)「令和6年度地域包括支援センター(高齢者相談センター)の評価結果報告及び令和7年度委託法人の承認について」における津田沼・鷺沼、屋敷、東習志野高齢者相談センターについて、資料に基づいて説明。

(向井会長)
何か質問や意見はあるか。

(一同)
質問・意見なし。

(向井会長)
ないようであれば、この内容について異議はないか。

(一同)
異議なし。

(向井会長)
異議なしと認める。津田沼・鷺沼、屋敷、東習志野高齢者相談センターについて令和7年度も引き続き、現法人を委託法人として承認する。

(向井会長)

続いて、谷津、秋津高齢者相談センターについてご審議いただくが、現委託法人の関係者である高橋委員については、一旦退室いただく。

高橋委員退室

(向井会長)

事務局から説明を求める。

(相原健康福祉部主幹)

審議事項(1)「令和6年度地域包括支援センター(高齢者相談センター)の評価結果報告及び令和7年度委託法人の承認について」における谷津、秋津高齢者相談センターについて、資料に基づいて説明。

(向井会長)

何か質問や意見はあるか。

(鈴木委員)

慶美会は良い成績を残していると感じた。他と少し差がある。継続していただけると安心感がある。

(向井会長)

事業者の活躍は利用者にも影響があることと思う。良い評価がされているということは委託先にも伝え、今後につなげられればと思う。

他に質問や意見はあるか。

(一同)

質問・意見なし。

(向井会長)

ないようであれば、この内容について異議はないか。

(一同)

異議なし。

(向井会長)

異議なしと認める。谷津、秋津高齢者相談センターについても、令和7年度も引き続き、現法人を委託法人として承認する。審議事項が終わったため、高橋委員に入室いただく。

高橋委員入室

(向井会長)

次に、審議事項(2)「令和7年度地域包括支援センター運営方針について」ご審議いただく。事務局から説明を求める。

(相原健康福祉部主幹)

審議事項(2)「令和7年度地域包括支援センター運営方針について」資料に基づいて説明。

(向井会長)

何か質問や意見はあるか。

(鈴木委員)

新しい認知症観とはどのようなものか。

(相原健康福祉部主幹)

新しい認知症観とは、認知症基本法に示される概念である。認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で、仲間らと繋がりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方である。

(向井会長)

他に質問や意見はあるか。

(一同)

質問・意見なし。

(向井会長)

ないようであれば、この内容について異議はないか。

(一同)

異議なし。

(向井会長)

異議なしと認める。この内容にて承認する。

日程第7 報告事項

(向井会長)

続いて報告事項に入る。

報告事項(1)「習志野市光輝く高齢者未来計画2024における令和6年度中間評価について」事務局から説明を求める。

(長谷川高齢者支援課長)

報告事項(1)「習志野市光輝く高齢者未来計画2024における令和6年度中間評価について」

(1)-1、-2 資料に基づいて説明。

(北澤介護保険課長)

報告事項(1)「習志野市光輝く高齢者未来計画2024における令和6年度中間評価について」

(1)-3 資料に基づいて説明。

(向井会長)

何か質問や意見はあるか。

(本多委員)

「多様なサービスの担い手の創出」における課題と対応策について、「未就学児、小学生を育てる親世代もターゲットに含めて広報配布先を変更した。」とあるが、どのような理由から効果を見込んだのか。

(岡澤健康福祉部主幹)

前期では、谷津エリアを対象に実施してきた。この取り組みは何年か行っているが、広域的に実施しても担い手がなかなか現れず、減少傾向にある。谷津圏域では、事前に圏域住民と高齢者相談センターの間で「どの程度なら手伝えるか」等について細かく協議を重ね、協力が見込めたため、打診も兼ねて実施した。また、若い世代にターゲットを、という点については、社会福祉協議会第1層生活支援コーディネーターに事前ヒアリングにご協力いただいた。国からの指針等に基づき、支援を必要とする高齢者を元気な高齢者が見守り手助けするという考えのもとやってきたが、それにも限界がある。若い世代にも早いうちから現状を理解し、地域貢献を意識してもらう機会を作っていかなければ、将来的に立ち行かなくなるという懸念もあったため、若い母親たちに「どの程度の範囲であれば地域貢献に協力してもらえるか」などのヒアリングを行った。その中で、「子供を預けている間の短時間であれば」、「多少の報酬が出るのであれば」といった意見をいただいたことから、今回、若い世代もターゲットとした。

(本多委員)

若い子育て世代は忙しくて参加は難しいと感じていたため、事前にそのような経緯があったと聞き、納得した。高齢者世帯や家族にも、実際に介護保険を使う時になって初めて、制度の難しさや疑問を感じるということがあると思う。若い世代が介護保険や高齢者福祉の制度、地域の身近さなどを学ぶことができるため、とても良い取り組みだと思う。

(向井会長)

他に質問や意見はあるか。

(飯野委員)

介護サービス別提供実績の訪問介護について、計画値に対して実績値が46.6%と目安を下回っているとの話であった。前期高齢者は認定率が低く、元気であるといえるが、この状態を維持するためには、訪問介護や訪問看護を活用できればと考えている。医療ニーズは増加傾向という分析があり、注視していくとのことだが、後期高齢者になって認定率が急増する点については、急に状態が悪化しているのか、それとも必要なサービスが足りない、必要なサービスに結

びついていないという人が実際はいるのではないかと感じる。その点についてはいかがか。

（北澤介護保険課長）

訪問看護の計画値については、増加傾向にあった 8 期計画を基に、更なる増加を見込んで設定した。そのため、実績値が減少しているというよりは、伸びが弱まっているというような形ではないかと考えている。

（飯野委員）

訪問リハビリテーションも計画値に対して実績値が若干少なめであるため、どう分析したらよいだろうか。良い状態が続いているからなのか、サービスが必要な人に行き届いておらず重症化しているのかというあたりで、今後注視していくところになるのかと感じた。医療費も上がってきており、適切なタイミングでサービスが入ることによって状態を維持できていると感じているので、実績値が低いことが良いものであればと思う。

（向井会長）

他に質問や意見はあるか。

（一同）

質問・意見なし。

（向井会長）

続いて、報告事項(2)「地域密着型サービス事業者の公募について」事務局から説明を求める。

（長谷川高齢者支援課長）

報告事項(2)「地域密着型サービス事業者の公募について」資料に基づいて説明。

（向井会長）

何か質問や意見はあるか。

（一同）

質問・意見なし。

（向井会長）

続いて、報告事項(3)「認知症初期集中支援チームの活動状況について」事務局から説明を求める。

（相原健康福祉部主幹）

報告事項(3)「認知症初期集中支援チームの活動状況について」資料に基づいて説明。

（向井会長）

何か質問や意見はあるか。

(本多委員)

チーム内に医師は必ず必要なのか。

(相原健康福祉部主幹)

その通りである。

(本多委員)

家族や本人にとって、医師がいることの強さ、大事さという点はあると感じている。認知症初期集中支援チームの対応で制度に繋がった結果、本人や家族、周囲が安心できる。地域包括支援センター側の時間の要望もあるため医師の対応も難しいところはあると思うが、今後も継続してほしい。

(向井会長)

他に質問や意見はあるか。

(飯野委員)

認知症初期集中支援チームが対応した中に、「いずれのサービスにも繋がらなかった(改善した)」というものが1件あったが、非常に良いと感じた。自分たちで生活していけるように支援が行き届いたという点が素晴らしい。一方で、目標値の「支援対応終了者のうち、サービスに繋がった件数が 65%以上」という評価指標はこの点に矛盾するような印象も受けた。サービスに繋がらず改善した点についても、プラスに評価していただきたい。

(向井会長)

医師会の協力も受けながら、今後も認知症初期集中支援チームの活動を続けていただきたい。他に質問や意見はあるか。

(高橋委員)

過去の議事録の中に、認知症初期集中支援チームに介護福祉士がいないのはどうなのかという意見があった。今回、介護福祉士が西部のメンバーの中に入っているのを見て、習志野市は委員の意見をきちんと踏まえて改善していることがわかり、その姿勢に感心させられた。

(向井会長)

他に意見や質問はあるか。

(荒木委員)

認知症初期集中支援チームは非常に困難なケースを対応されていることと思う。問題のあるケースは、意外と本人や家族が困っていない場合も多いのではないか。今年度対応した3件について、どこから相談があったのか。

(相原健康福祉部主幹)

荒木委員の指摘の通り、やはり家族と本人の認識では困っていないというケースも多々見られ、介入できないという場合も多い。令和6年度の3件に関しては、家族から何年にも渡り介護負担

の訴えがあったものが1件、近隣住民からの情報提供によるものが2件である。

(向井会長)

他に質問や意見はあるか。

(一同)

質問・意見なし。

(向井会長)

続いて、報告事項(4)「地域密着型(介護予防)サービス事業者の指定等について」事務局から説明を求める。

(北澤介護保険課長)

報告事項(4)「地域密着型(介護予防)サービス事業者の指定等について」資料に基づいて説明。

(向井会長)

何か質問や意見はあるか。

(一同)

質問・意見なし。

(向井会長)

質問等ないようなので、これにて報告を終わりとする。

日程第8 その他

(向井会長)

続いて日程第8、その他として、事務局より連絡等あればお願いする。

(北澤介護保険課長)

令和7年度第1回目の運営協議会は、令和7年7月17日木曜日、午後1時30分から、会場は、市庁舎グラウンドフロア ABC 会議室を予定している。期日が近くなったら通知をお送りするので、ご出席いただきたい。また、第2回目以降の開催予定については、次第に記載させていただいているためご承知おきいただきたい。

また、総務課から依頼があったため、この場をお借りして国勢調査の調査員募集についてご案内させていただきたい。

(北澤介護保険課長)

国勢調査の調査員募集について説明。

(向井会長)

以上をもって、令和6年度第3回習志野市介護保険運営協議会を閉会する。